参加無料

ＣＡＰおとなワークショップ

こどもの権利と安心を守るおとなのつながり



2026年 10月19日［月］ 14:00-16:00

会 場 ともかぜ振興会館 ２階 研修室

いじめ、誘拐、虐待、性暴力など、こどもが暴力の被害にあいそうになったり、大切な権利が侵害されそうになったとき、自分の力で自分を守るにはどうすればいいのでしょうか。また、あらゆる暴力からこどもを守るために、私たちおとなに普段からできることとは…？

予防教育として効果があり、人権意識を育む「ＣＡＰこどもワークショップ」を通して「こどもの権利」について正しく理解し、知るだけではなく私たちの日常に根づかせていきましょう。

こどもの権利が守られ、こども虐待のない安心・安全な地域をつくるためにぜひご参加ください。

内 容

- ✓ こどもたちを取り巻く暴力
  ―被害からこどもを守るには？
- ✓ ＣＡＰこどもワークショップ体験
  ―こどもの権利「安心・自信・自由」
- ✓ こどものSOSに気づく視点と適切な関わり方
- ✓ 「こどもの声を聴く」とは？
- ✓ こどもを守るためにおとなにできること

CAPとは

Child Assault Prevention（こどもへの暴力防止）の頭文字をとったもので、こどもが暴力から自分を守るための予防教育プログラムです。おきなわCAPセンターは1996年に発足。県内各地の小学校を中心に、保育園、幼稚園、こども園、中学校、高校、児童養護施設、各市町村、教育関係機関、地域などでワークショップ、講座、研修会を実施しています。

講 師 おきなわＣＡＰセンター

参加者からの感想



- 今までは、大人がどう子どもの人権を守るかという研修が多かったが、子ども自身が自分を守るために、どう伝えるかというもので、すぐにでも子どもたちに伝えたいと思った。
- 子どもが自分で自分を守ることができる大切な知識、学習だと思います。CAPが教育プログラムに組み込まれたら子どもたちの権利を守ることもできる。もっと学校にCAPが浸透したらいいのになと思いました。
- こどもワークショップを体験できて、こどもへの人権の伝え方が分かった。「楽しく学ぶ」を意識したい。
- ロールプレイなどイメージしやすい進め方でわかりやすかった。洗練された、ムダのないプログラムだと思った。
- 子どもたちの考える力を信じること。きっとわからないだろうからあとで伝えよう…ではなく、その年齢に見合った伝え方で話すことの大切さを知りました。

対 象 公立・公私連携こども園職員、関係者、市職員

定 員 ３０人（お申し込みが必要です）

問合せ先 那覇市こども政策課
電話 098-861-2110
担当 兼元、高江洲

主催：沖縄県　共催：那覇市　事業受託：特定非営利活動法人おきなわCAPセンター